

地盤品質判定士、地盤品質判定士補
ならびに地盤品質判定士協議会関係者の皆様へ

【地盤品質判定士通信 No.246】

新年あけましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては、2026年の新春を穏やかにお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

今年の干支は「午（馬）」です。日本の歴史で人と馬が関わることになったのは古墳時代とされているようです。とても古くから様々な形で共存・共生してきたものと思います。特に、今年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」を迎え、力強く成長を促す年とも言われております。少しでもあやかり力強い景気回復を期待いたしております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1. NHK首都圏ネタドリ 擁壁崩壊～進む老朽化 どう備えるか～

杉並区で発生いたしました擁壁と家屋の倒壊を受けまして、12月12日（金）19:30からNHKが標記の番組の放送致しました。判定士会技術委員長（兼協議会：資格制度監理委員長）の橋本先生（国土館大学）、神奈川支部の立花支部長はじめ多くのみなさまが対応してくださいました。

下記にて放送内容が公開されていますので、興味のある方は是非ご覧ください。

<https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10015004201000>

2. 2025年度 相談員研修 — 登録相談員になるための必須講座 — *再掲

一般社団法人地盤品質判定士会では、令和3年4月から「相談員登録制度」を運用しています。この制度は、一般市民から地盤品質判定士会に寄せられる宅地や擁壁等の地盤相談に対して、登録された相談員が対応できるしくみを整備することを目的とするもので、地盤品質判定士による宅地防災活動のひとつになっています。相談員登録制度の詳細につきましてはこちらのページ（<https://hanteishi.org/post-3727/>）でも解説していますのでご参照ください。

登録相談員になるためには「相談員研修」を受講していただくことが条件となっております。今後、相談員としての活動を希望される地盤品質判定士の方は本研修を受講していただき、相談員にご登録ください。

本研修では、戸建て住宅の基礎地盤における調査・地盤改良など技術上の解説に加えて、地盤・基礎に関わる法令面からの解説も行っております。相談員の予定のない方にとっても有用な内容になっておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■日 時：令和8年1月16日（金） Zoomウェビナーによるオンライン開催

■参加費：5,500円（消費税含む）

■C P D：G-CPD 3.5 ポイント（内：倫理 1.0 ポイント）を予定

■プログラム：内 容 ・ 時 間 ・ 講 師

1 相談員登録制度のしくみ 13:00～13:30

石橋 貢【地盤品質判定士】（地盤品質判定士会技術委員会）

2 市民相談の流れと相談員の心構え 13:30～14:30

立花 秀夫【地盤品質判定士／（株）八州】（地盤品質判定士会神奈川支部支部長）

3 戸建て地盤調査・地盤改良の実態 14:30～15:30

福田 靖浩【地盤品質判定士／（株）データ・ユニオン】（地盤品質判定士会神奈川支部幹事）

休憩 15:30～15:40

4 宅地相談に関わる法令・基準 15:40～16:40

5 質疑応答 16:40～17:00

■申込み方法：講習会情報・各種販売システムよりお申し込みください。

■申込み締切：令和8年1月9日（金）

■参加方法：開催日の数日前にZoom入室用のURL、講義資料（PDF版）のダウンロード方法等をメールにてお知らせいたします。

■お問合せ：本研修に関するお問い合わせは下記までお願ひいたします。

問合せ先：kosyukai2@hanteishi.org

詳細は下記を参照ください。

<https://hanteishi.org/post-8685/>

3. 2025年度地盤品質セミナー開催のお知らせ *再掲

2025年度地盤品質セミナーは、「宅地盛土・擁壁に関する諸問題と判定士の役割」をメインテーマとして開催されます。

令和6年能登半島地震では、北陸地方の広い範囲で宅地被害が発生しました。特に宅地盛土の被害が非常に多く発生し、金沢市東部の住宅地での斜面崩壊や、新潟県糸魚川市の盛土造成地での擁壁崩壊などが報告されています。また、直近では東京都杉並区で築50年以上の擁壁が崩れ、住宅が倒壊する事例も発生しています。こうした盛土災害への危機意識から、全国一律の基準で規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（盛土規制法）が2023年5月26日より施行され、その運用が始まっています。

本セミナーは、こうした背景を踏まえ、盛土地盤の被害事例や判定士会の活動報告、擁壁の変状問題と判定士会の関わりなど、最新の課題と動向について話題を提供します。本セミナーは、住宅地盤・基礎に関する建築士や建築・土木系の技術者の方々のみならず、不動産鑑定士、弁護士、保険関係の方々などの知見向上に繋げるとともに、地盤品質判定士の更なる活動を推進することを目的としております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

◆開催形式：対面とWebのハイブリッド形式（WebはZoomウェビナーによる配信）

◆主催：一般社団法人 地盤品質判定士会

◆日時：令和8年1月23日（金）

◆会場（対面）：地盤工学会地下講堂（〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号）

◆G-CPDポイント：5ポイント

◆定員：対面：60名、Web：200名

◆内容・講師

1. 開会の挨拶 10:00～10:10 北詰昌樹 【一般社団法人地盤品質判定士会 理事長】

2. 宅地盛土地盤の変状および盛土規制法

(1) 話題提供：

・「盛土地盤の被害事例」10:10～10:40

佐藤 真吾 株式会社復建技術コンサルタント【（一社）地盤品質判定士会 東北支部長】

・「判定士会の活動報告」10:40～11:10

門田 浩一 パシフィックコンサルタンツ株式会社【（一社）地盤品質判定士会 審査部会会長】

休憩（10分） 11:10～11:20

(2) キーノートレクチャー

・「盛土規制法の現状について」 11:20～12:10

奥山 悠木 【国土交通省都市局都市安全課企画専門官】

昼休み（50分） 12:10～13:00

3. 拠壁の変状問題と判定士会の関わり

(1) 話題提供：

- ・「擁壁の変状に関する相談事例」13:00～13:30
立花 秀夫 【(一社) 地盤品質判定士会 神奈川支部長】
- ・「擁壁に対する訴訟事例」13:30～14:00
秋野 卓生 弁護士 【弁護士法人 匠総合法律事務所】

休憩（10分） 14:00～14:10

(2) キーノートレクチャー：

- ・「市街地の既存擁壁における現状と課題」 14:10～15:00
西村 真二 株式会社 UR リンケージ 【(一社) 地盤品質判定士会 神奈川支部幹事】
- 休憩（10分） 15:00～15:10
- ・「擁壁の設計施工の考え方」 15:10～16:00
橋本 隆雄 国士館大学特任教授 【(一社) 地盤品質判定士会技術委員会委員長】

休憩（10分） 16:00～16:10

4. Q & A コーナー

メインテーマ：宅地盛土・擁壁に関わる諸問題と判定士の役割 16:10～16:50

司会進行

利藤 房男 応用地質株式会社 【(一社) 地盤品質判定士会 幹事長】

5. 閉会の挨拶 16:50～17:00 渡部 要一 北海道大学教授

【公益社団法人 土木学会地盤工学委員会委員長】

【注】講師、内容、講義時間等は、各種事情により変更させていただく場合があります。

◆申込み締め切り日：令和8年1月16日(金) ※開催日の1週間前

詳細は下記を参照ください。

<https://hanteishi.org/post-8666/>

4. 2025年度第2回 宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会

『宅地地盤・盛土・擁壁等の被害と対策及び防災普及活動等に関する知見』

(公社) 地盤工学会

令和6年能登半島地震をはじめ、これまでにも大地震及び大雨の影響等により、宅地盛土・擁壁及び崖面崩壊防止施設（補強土等）の崩壊、宅地地盤の液状化及びそれに伴う建築基礎の変状など、民間・公共施設等において、数多くの被害が発生しています。令和5年5月に施行された盛土規制法では、主に地震や降雨による盛土等の表層崩壊、大規模崩壊、盛土等の崩落により流出した土砂が土石流化する現象などの災害を想定し、新設・既存盛土等に対して安定化策が進められています。また、地域住民による自主防災の必要性も高まっており、この取り組みを推進するための防災普及活動も重要になっています。

宅地地盤・擁壁の安定性等について、限られた情報の中での的確に把握・評価するためには、携わる技術者が地盤工学に関する高度な専門知識と技術者倫理を有するだけでなく、最新の宅地・建築基礎の被害・対策等に関する情報、宅地防災の普及活動への取組みなど、新しい知見を常に得る必要があります。

そこで、公益社団法人地盤工学会では、一般社団法人地盤品質判定士会と連携して、2025年度第2回 宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会『宅地地盤・盛土・擁壁等の被害と対策及び防災普及活動等に関する知見』を企画いたしました。本講習会では、盛土規制法における新たな技術指針の特徴、補強土（崖面崩壊防止施設）による盛土安定強化策、土石流に関する災害調査と再現解析、及び市民地盤工学への挑戦、宅地防災の普及活動等より得られた知見についての話題を提供します。皆さん、奮ってご参加ください。なお、本講習会はZoomウェビナーによるオンラインで行います。

◆G-CPD ポイント数：6.0

◆日 時：令和8年2月26日(木) 9:30～16:50

◆会場・形式：Zoomウェビナーによるオンライン開催

◆会 費：会員 12,000円 非会員 18,000円 後援団体会員 16,000円 (共に消費税込み)

※地盤工学会の特別会員（法人・団体会員）の特典による会員価格での参加人数は、「会員の特典」案内ページをご参照ください。

◆配布資料：本講習会のために講師の方が作成する説明資料を pdf で提供します。

◆定 員：なし

◆内容・講師・時 間：

・9：30～10：40(70min)

盛土規制法における技術指針の特徴及び令和6年能登半島地震における宅地液状化被害

門田 浩一【パシフィックコンサルタンツ株式会社】

・10：50～12：00(70min)

事例から学ぶ補強土工法の地震・豪雨災害の復旧と事前対策

松本 優明【前田工織株式会社】

・13：00～14：10(70min)

土石流に関する災害調査と再現解析

笠間 清伸【九州大学】

・14：20～15：30 (70min)

市民地盤工学への挑戦～家屋直下の陥没孔は DIY で直せるか？～

森 友宏【前橋工科大学】

・15：40～16：50(70min)

地盤品質判定士会中部支部の活動を通じた市民の宅地防災意識の啓発

千野 克浩【応用地質株式会社】

※録画録音、参加 URL の無断共有は固く禁止させていただきます。

◆申込方法：下記 URL の「ウェビナー登録」から必要事項を入力してお申込ください。

折り返しウェビナー参加に必要な情報が届きます。

※同じメールアドレスで複数の受講者分を申し込むことはできません。

【zoom ウェビナー事前登録（受講申込）】

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_JADmOmyDTsyroqg71FLbyQ

申込〆切：令和8年2月18日（水）まで

講習会参加料のお支払い・入金期限についてはこちらでご確認いただけます。

https://www.jiban.or.jp/?page_id=18763

◆問合せ先：地盤工学会講習会係 kosyukai@jiban.or.jp (◆を@にして送信ください)

詳細は以下をご参照下さい。

https://www.jiban.or.jp/?page_id=20722

2026年1月5日（月）

/////////////////////////////

地盤品質判定士協議会 事務局

〒 112-0011 東京都文京区千石 4-38-2

公益社団法人 地盤工学会内

Tel. 03-3946-8766 Fax. 03-3946-8678

e-mail jage@jiban.or.jp

/////////////////////////////